

令和2年度事業報告

1 概況

令和2年度は、前年度末から感染拡大した新型コロナウイルス（以下、「コロナ」という。）の影響を受け、年度当初から6月中旬まで、ホール利用の中止または延期を主催者に要請したため、この期間の利用実績はゼロとなりました。6月下旬以降、国、県によるイベント開催制限の緩和とガイドラインの整備により、感染対策の徹底を条件に段階的に施設の利用制限を緩和しましたが、無観客または関係者のみの利用で、上半期の施設利用は例年の半分以上となりました。

下半期は、10月26日から翌年3月19日まで県の県立劇場中長期改修保全計画に基づく大規模改修工事により駐車場を除く全ての施設が利用停止となり、令和3年2月から施設貸出の受付業務は開始したものの劇場はこの期間休館となり、工事関係の調整や内部事務以外は館外での活動となりました。

文化事業については、上半期に集中していたホールを利用した事業がコロナの影響で全て中止または延期となりました。このため急遽、劇場からの発信、教育活動支援、アーティストの活動支援などを目的として、動画配信によるアーカイブ事業やオンラインスクールなどに新たに取り組みました。

下半期においても、コロナの影響は収まらず当初計画で予定していたアウトリーチ事業やネットワーク事業が変更または中止を余儀なくされましたが、アウトリーチ事業の登録アーティスト選定や清和文楽の新たな取組み、芸術文化祭オープニングステージの準備・調整など、様々な制約の中で関係者と連携して次年度以降のベースとなる取組みを展開しました。

令和2年度の重点的な取り組みである「人材育成と関係機関との連携」では、熊本県公立文化施設協議会の地域ブロック化による地域ごとの研修会の実施や、高等教育機関との連携として熊本大学教育学部・大学院教育学研究科との包括連携協定の締結など行いました。

このほか、コロナの感染予防対策を契機として当財団理事会、評議員会で議論されたホールの部分利用提供が、年度末の条例改正により令和3年4月から新たなホール利用形態として可能となりました。

2 管理運営業務の実施状況

(1) 財団の活動

□ 評議員会、理事会

開催日	内容
4月17日 (金)	第49回理事会（決議の省略） 第1号議案 第41回評議員会（決議の省略）の招集について
4月24日 (金)	第41回評議員会（決議の省略） 第1号議案 理事の選任について 理事候補者①田村 真一（熊本県企画振興部地域・文化振興局長） 理事候補者②西尾 浩明（熊本県教育委員会教育総務局長） 理事候補者③藤本 英行（熊本日日新聞社文化生活部長）
5月14日 (木)	第50回 理事会（決議の省略） 第1号議案 専決処分の報告および承認について （令和元年度及び令和2年度文化事業） 第2号議案 専決処分の報告および承認について （令和元年度収支予算の第2回補正） 第3号議案 令和元年度事業報告及び新型コロナウイルス感染症対策の状況について 第4号議案 令和元年度決算報告について 第5号議案 令和2年度収支予算の第1回補正(案)について 第6号議案 諸規程の改正について 第7号議案 第42回評議員会の招集について 第8号議案 評議員選定委員会への評議員候補者の推薦及び同委員会の開催について 評議員候補者① 吉丸 良治（熊本県文化協会名誉会長） 評議員候補者② 甲斐 隆博（熊本経済同友会代表幹事） 評議員候補者③ 坂本 正（熊本学園大学シニア客員教授） 評議員候補者④ 鳥飼 香代子（熊本大学名誉教授） 評議員候補者⑤ 山川 清徳（熊本県企画振興部長）
5月29日 (金)	第42回 評議員会 第1号議案 専決処分の報告および承認について （令和元年度収支予算の第2回補正） 第2号議案 令和元年度事業報告及び新型コロナウイルス感染症対策の状況について 第3号議案 令和元年度決算報告について 第4号議案 令和2年度収支予算の第1回補正(案)について
6月3日 (水)	第51回 理事会（決議の省略） 第1号議案 専決処分の報告及び承認について（令和2年度文化事業） 第2号議案 第43回評議員会の招集について

6月11日 (木)	<p>第43回 評議員会</p> <p>第1号議案 役員の選任について</p> <p>理事候補者① 宮尾 尚 (熊本県立劇場常務理事)</p> <p>理事候補者② 原 幸代子 (熊本県文化協会副会長)</p> <p>理事候補者③ 松下 純一郎 (島田美術館館長)</p> <p>理事候補者④ 櫻井 一郎 (熊本県中小企業団体中央会会長)</p> <p>理事候補者⑤ 米野 真理子 (一般社団法人日本ソムリエ協会理事)</p> <p>理事候補者⑥ 藤本 英行 (熊本日日新聞社文化生活部長兼論説委員)</p> <p>理事候補者⑦ 岡 克則 (NHK 熊本放送局放送部長)</p> <p>理事候補者⑧ 田村 真一 (熊本県企画振興部地域・文化振興局長)</p> <p>理事候補者⑨ 西尾 浩明 (熊本県教育委員会教育総務局長)</p> <p>理事候補者⑩ 本田 恵介 (熊本県立劇場参与)</p> <p>監事候補者① 小野 友道 (熊本県文化協会監事)</p> <p>監事候補者② 庄田 浩一 (公認会計士、税理士)</p> <p>第2号議案 定款の変更について</p>
6月19日 (金)	<p>第52回 理事会 (決議の省略)</p> <p>第1号議案 常務理事の選定について</p> <p>常務理事候補者 宮尾 尚 (熊本県立劇場 副館長)</p> <p>第2号議案 資金運用規程の制定について</p>
7月28日 (火)	<p>第53回 理事会 (決議の省略)</p> <p>第1号議案 評議員選定委員会委員の選定について</p> <p>委員候補者 毛利 聖一 (熊本日日新聞社編集局長)</p>
9月25日 (金)	<p>第54回 理事会 (決議の省略)</p> <p>第1号議案 第44回評議員会 (決議の省略) の招集について</p>
10月12日 (月)	<p>第44回評議員会 (決議の省略)</p> <p>第1号議案 理事の選任について</p> <p>理事候補者 野尾 晴一郎 (熊本県企画振興部政策審議監兼企画振興部地域・文化振興局長)</p>
11月12日 (木)	<p>第55回 理事会</p> <p>第1号議案 専決処分の報告及び承認について (令和2年度文化事業)</p> <p>第2号議案 諸規程の改正及び制定について</p> <p>第3号議案 令和3年度文化事業について</p>
令和3年 2月10日 (水)	<p>第56回 理事会</p> <p>第1号議案 令和2年度収支予算第2回補正 (案)</p> <p>第2号議案 令和3年度事業計画 (案)</p> <p>第3号議案 令和3年度収支予算 (案)</p> <p>第4号議案 規程の改正</p> <p>第5号議案 第45回評議員会の招集</p>
2月25日 (木)	<p>第45回 評議員会</p> <p>第1号議案 令和2年度収支予算第2回補正 (案)</p> <p>第2号議案 令和3年度事業計画 (案)</p> <p>第3号議案 令和3年度収支予算 (案)</p>

□監査

開催日	内容
5月6日 (水)	監事監査 (事業) (熊本県立劇場 監事)
5月7日 (木)	監事監査 (会計) (熊本県立劇場 監事)

7月3日 (金)	熊本県立劇場指定管理業務に係る実地調査 (熊本県 文化企画・世界遺産推進課)
-------------	---

□文化事業評価委員会

開催日	内容
9月24日 (木)	第1回文化事業評価委員会
令和3年 3月9日 (火)	第2回文化事業評価委員会

□熊本県立劇場事業評価検討委員会（熊本県）

開催日	内容
8月28日 (金)	令和2年度第1回熊本県立劇場事業評価検討委員会 (オブザーバーとして出席)

(2) 実演芸術の公演または発表のための施設等の提供を行う業務

① モニタリング

公演終了後に利用者アンケートを実施し、ホール利用者の満足度と改善要望事項を個別に把握し、管理運営に反映させました。

また、日々の業務の中で直接寄せられる様々な意見は、「利用者記録（カルテ）」等により、利用者ニーズの把握及び情報共有に努めました。

[アンケート調査結果]

評価項目（4段階評価）	令和2年度	令和元年度
	回収 11 団体	回収 58 団体
(1) 利用料金について 4:安い 3:やや安い 2:やや高い 1:高い	2.10	2.70
(2) 利用手続きについて 4:円滑 3:概ね円滑 2:やや煩雑 1:煩雑	<u>3.82</u>	3.65
(3) フロア職員の接客態度や対応について 4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない	3.91	3.98
(4) ステージ職員の接客態度について 4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない	<u>3.91</u>	3.90
(5) 舞台・音響・照明の設備について 4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない	3.91	3.95
(6) また利用したいと思うか 4:是非利用したい 3:利用してもいい 2:あまり利用したくない 1:もう利用したくない	<u>4.00</u>	3.98
平均	3.61	3.69

※アンケート詳細は資料1を参照

アンケート調査結果表内の(3)フロア職員、(4)ステージ職員および(5)舞台・音響・照明設備の項目については、昨年度に引き続き高い評価を得ました。利用者に寄り添う職員の対応や、綿密な事前打ち合わせの実施等により、(6)また利用したいが満点の評価でした。

② お客様の声・みなさまの声

館内に「ご意見箱」を設置し「お客様の声」を、ホームページ内のコーナーで「みなさまの声」を収集しました。令和2年度の「声」は次のとおりです。

項目	件数	要望・ご意見・問い合わせ等(一部)
お客様の声	1件	・5段階評価(清掃状況、接客対応等全て①とてもよい)
みなさまの声	19件	・中止公演の払い戻し ・ケンゲキアートチャンネルの動画募集 ・練習室の新型コロナウイルス対策(消毒液の数) ・練習室の利用料金と利用可能日について

③ 業務打ち合わせ

ホールでの催事については、公演の約1か月前に主催者と施設サービス・舞台技術グループ職員が、舞台進行や舞台配置図及び使用備品の確認等の打ち合わせを行いました。令和2年度は47公演について実施しました。

④ 舞台技術職員の弾力的な配置対応

舞台転換など演出が多様な公演では安全を確保し、スムーズな舞台進行を行うため、必要に応じ最大5人までの舞台技術職員(舞台・照明・音響)を増員して配置しました。令和2年度は35公演、のべ52人(仕込み、リハーサル日を含む)を増員して対応しました。

(3) 実演芸術を担う人材を育成し確保する業務

① 育成事業

実演芸術を担う人材の育成を図る「劇場人育成プログラム」を開催しました。受講者は、熊本県公立文化施設協議会(「以下熊公文協」という。)加盟館職員をおもな対象としましたが、内容により公立文化ホールの設置者である地方自治体職員にも参加していただきました。

[劇場人育成プログラム]

回	内 容	講 師	日 程	参加者
1	アートマネジメント(1) 地方自治体における文化行政の現状と課題	静岡文化芸術大学 教授 片山泰輔	6/23(火)	80人
2	アートマネジメント(2) 事例発表とグループワーク アフターコロナの自主文化事業を考える	県立劇場職員	7/28(火)	18人
3	アートマネジメント(3) グループワーク 令和3年度のネットワーク事業を企画する	県立劇場職員	8/17(月)	21人

4	裏方が支える舞台の仕事 ～舞台の現場と職能～	空間創造研究所 代表 草加叔也	10/5 (月)	35 人
5 6	企画・制作の流れを学ぶ 広報・宣伝のノウハウを学ぶ	愛知県芸術劇場 林 健次郎	11/26 (木)	31 人
7	ピアノコンサートと邦楽演奏会のスタッフ ワーク	ピアノハーブ社 内川 明 上野屋楽器 上野秀喜	12/22 (火)	43 人
8	公開講座〔Web セミナー〕 動画配信と著作権	骨董通り法律事務所 弁護士 岡本健太郎	R3. 1/9 (土)	68 人
9 10	【中止】映像機器の現状と課題 ～オペレーションの基礎～	—	2/8 (月)	—

② 職員研修等の実施状況

職員研修の充実を図り、職員一人ひとりの専門性や実践力の成長を促すため、年間計画を立てて研修を行いました。

また、令和元年度末に職場の業務改善への意識を高め、組織の活性化ならびにサービス力の向上を図ろうと「業務改善プロジェクトチーム」を立ち上げ、引き続き業務改善のグループワークを実施しました。

[研修内容]

実施日	研修名	内容
5月26日(火)	〔業務改善ワーキング〕 グループを超えてお互いの 仕事をカバーし合える職場 づくり	グループを超えて仕事をカバーし合える職場を作るために最低限共有しておきたい業務内容について話し合った。 ・参加者:20名
6月29日(月)	〔業務改善ワーキング〕 各グループの情報共有に ついて	劇場全体や、各グループの年間スケジュールを共有し、業務を効率的に進め、お互いフォローし合える体制をつくるため、課題と具体的方法について話し合った。 ・参加者:17名
8月14日(金)	〔グループワーク〕 コロナ禍で考える劇場の 使命	コロナ禍のなか劇場ができることは何か、来年の同じ時期にどう変わってほしいか、そのために今できることは何か、について考え、それぞれの考えを発表した。 ・ファシリテーター:熊本大学田中尚人准教授 ・参加者:10名
8月27日(木)	〔業務改善ワーキング〕 文書決裁について	起案文書の決裁の課題と改善点について、グループごとに意見を出し合った。 ・参加者:18名

9月29日(火)	〔職員研修〕 職場におけるハラスメント 対策研修	「ハラスメントとは何か」についての教育・研修 をとおして、ハラスメントのない職場づくり、明 るい活気ある職場づくりについて、一人ひとりが 気にかけておく点等についての研修。 ・講師：社会保険労務士 染村二三男氏 ・参加者：25名
12月15日 (火) ～16日(水)	〔職員研修〕 地震・火災訓練(視察&体験)	熊本市広域防災センターで、火災を想定した避難 訓練や起震装置体験のほか、防災についての講義 を受けた。 ・参加者：21名
令和3年 2月27日(土)	〔グループワーク〕 「劇場開館40周年記念 事業」を考える	令和4年度に実施予定の劇場開館40周年記念事 業についてアイデアブラッシュを行った。 ・参加者：14人
3月5日(金)	〔職員研修〕 情報セキュリティ対策研修	職場における情報セキュリティについて、課題と 対策を学んだ。 ・参加者：24人

③ 高等教育機関との包括連携協定調印

熊本県立劇場条例の一部改正に伴い、実演芸術を担う人材の育成や実演芸術の振興のための関係機関等との連携強化が求められていることを受け、昨年度に引き続き高等教育機関と協定締結の調印式を実施しました。

[連携協定の内容]

締結日	相手方	連携・協力の内容
令和3年 3月15日(月)	国立大学法人 熊本大学教育学部・大学院教 育学研究科	・相互の講師派遣、人材交流 ・相互の主催事業または共同企画を連携・協力し て実施

(4) 県立劇場の使用の許可に関する業務

① 施設の利用状況

各施設の使用申請の受付および施設使用料の徴収事務に加えて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、施設の維持管理および運営に努めました（詳細データは資料2～7を参照）。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの催事が中止又は延期を余儀なくされたことから、両ホール施設の利用率は年間目標を40%強下回り、来館者数は年間目標を約80%下回りました。

[施設利用率の目標と実績]

施設名	年間目標	実績	差
コンサートホール	73.0%	28.3%	△44.7
演劇ホール	81.0%	33.6%	△47.4

◎4/3～5/27まで、県と協議の上閉館若しくは一部施設の貸し出しを停止しました。

◎5/28 以降は、国が示した「イベント開催制限の段階的緩和の目安」に基づき感染予防の順守を条件に利用に供してきました。

◎10/26～翌3/19 までの間、熊本県中長期保全計画に基づき大規模改修工事が行われたことにより、約5 か月間全施設の貸し出しを停止しました。

[来館者数の目標と実績]

	年間目標	実績	達成率
来館者数	336,000 人	<u>70,764 人</u>	21.1%

(5) 県立劇場の施設等の使用料の徴収および納付に関する業務

① 使用料の収納実績

令和2年度の施設使用料収入は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの催事が中止又は延期を余儀なくされたことから、施設使用料及び駐車場使用料の達成率は、それぞれ約60%、約40%に留まりました。

[施設使用料収納実績]

施設名	施設使用料 収入見込額	実績	達成率
設備使用料	101,713,000 円	<u>61,137,795 円</u>	60.1%
駐車場使用料	41,146,000 円	<u>17,720,400 円</u>	43.1%

※施設使用料収入見込額は県予算より

② 代行業務の実績

令和2年度の代行手数料収入は、172,173 円（令和元年度比 2,600,998 円減）でした。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの催事が中止又は延期を余儀なくされたことから、令和元年度同期比約94%減と大幅な減収となりました。

代行サービス	プレイガイド（チケット販売）、看板作成、アレンジフラワー、弁当の手配、ドライアイスの手配、AV 機器等レンタル、撮影、情報案内板作成、ピアノ調律、物品販売
--------	---

(6) 県民の文化の振興に必要な業務

① 文化事業の今年度の基本的な考え方

第4期指定管理者として新たに示された県の方針に則り次の5つの柱をもとに取り組みとともに、平成30年度から受託している熊本市民会館文化企画事業についても引き続き取り組みました。

■ 創造拠点として取り組む事業

- ・ 実演芸術に係る人材の育成や確保を行う事業
- ・ 地域の公立文化施設や文化団体を支援する事業
- ・ 伝統芸能の継承と発展を支援する事業

■ 普及拠点として取り組む事業

- ・ 実演芸術を鑑賞する機会を県民に提供する事業
- ・ 芸術文化に触れる機会を県民に提供する事業

■ 熊本市民会館文化企画事業

- ・ 芸術文化鑑賞機会拡大事業
- ・ 地域文化創造事業
- ・ 街なかの賑わい創出事業

② 新型コロナウイルス感染症の影響下での取り組み

コロナ禍による海外オーケストラの渡航禁止や全国ツアーの中止、ホールの貸し出し停止等を受け、令和2年度に実施を予定していた事業の多くが中止・延期を余儀なくされました。

中止した文化事業は次のとおりです。

開催日	事業名	備考
4月19日(日)	サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団	
4月26日(日)	共催事業 人形劇団むすび座「チト」	
5月10日(日)	文化活動支援事業 第109回熊本交響楽団定期演奏会	
5月23日(土) ～24日(日)	熊本文化プログラム 東京キャラバン	
5月27日(水)	ベルリン・フィル八重奏団	
6月7日(日)	熊本文化プログラム 鼓童×ロベール・ルパージュ<NOVA>	
6月12日(金)	市民会館事業 出田りあ&村治佳織デュオリサイタル	R3年度延期
7月25日(土)	舞台芸術コーディネート事業 菊池恵楓園 心の朗読会	
8月5日(水) ～6日(木)	二分間の冒険	
8月9日(日)	共催事業 熊本ユースシンフォニーオーケストラ定期演奏会	
8月14日(金)	熊本文化プログラム「県劇盆踊り」	
8月16日(日)	文化活動支援事業 碧落アンサンブル第30回定期演奏会	
8月30日(日)	第62回熊本県芸術文化祭オープニングステージ「バレエ」	R3年度延期
9月11日(金)	アドベンチャーシアターinケンゲキ②	
9月13日(日)	文化活動支援事業 ザ・シンフォニエッタ第33回定期演奏会	
9月27日(日)	文化活動支援事業 Ensemble Labo. Kumamoto 第14回演奏会	
10月11日(日)	ネットワーク事業 SINSKE 水俣市公演	
10月20日(火)	舞台芸術コーディネート事業 附中文化の日芸術鑑賞会	

10月24日(土)	共催事業 第59回熊本県新人演奏会	
11月29日(日)	市民会館事業 ゼロ歳からのファミリーコンサート	
12月1日(日)	熊本文化プログラム 美術館コンサート	
R3.1月	アウトリーチ事業 益城町アウトリーチ (11コマ)	
R3.1月27日 (水)~29日(金)	市民会館事業 劇団四季こころの劇場「人間になりたがった猫」	
R3.2月8日(月)	劇場人育成プログラム⑨⑩	
R3. 3月21日(日)	合唱と管弦楽のための交響詩集「時の川」	R3 年度延期
通年	ホールリハーサル支援事業	
通年	熊本文化プログラム活動支援事業	
通年	地域芸能支援事業	

一方で、舞台芸術活動が制限されている状況を鑑み、オンライン等の技術を活用した追加事業を企画。県内の実演芸術の担い手支援および鑑賞機会の提供に務めました。

追加・拡充した文化事業は次のとおりです。

開催日	事業名	備考
6月6日(土)~7日(日) 7月11(土)、12(日)	行くぜ! 劇場探検隊映像版 (撮影)	YouTube 配信
6月20日(土)~	熊本文化の発信およびアーカイブ事業 「#おうちで拍手を!」第1期	YouTube 配信
7月21日(火)、27(月) 28日(火)	アートキャラバンくまもと 「ケンゲキオンラインスクール~音楽を聴こう知ろう」	リアルタイム 配信
8月7日(金)~	熊本文化の発信およびアーカイブ事業 「#おうちで拍手を!」第2期	YouTube 配信
8月10日(月・祝)、11 日(火)、29日(土)、30 日(日)、9月27日(日)	共催事業 熊本県吹奏楽大会	コンサート ホール
11月~	「アートラーニング in 新しい生活様式」支援事業	YouTube 配信
R3.2月28日(日)	ネットワーク事業 「津軽三味線あべや 牛深公演」	牛深総合セン ター
R3.3月20日(土・祝)	清和文楽新作プロデュース「肥後アマビエ戀歌異聞」	大会議室

□ 行くぜ！劇場探検隊 映像版

コロナ禍で劇場に足を運ぶことができない状況でも親しんでもらえるよう、映像版バックステージツアーを制作、全9話を配信しました。

映像版ならではの演出を施すことで、通常公演では伝えられない劇場の魅力を伝え、県民により親しみを持ってもらえる内容としました。



□ 熊本文化の発信およびアーカイブ事業

「#おうちで拍手を！」

舞台芸術に関わるアーティストの表現の場や県民の鑑賞機会の提供を目的に、県立劇場公式 YouTube チャンネル「ケンゲキアートチャンネル」を開設しました。スタートアップ企画として熊本県にゆかりのあるアーティストの動画作品を紹介する「#おうちで拍手を！」を実施。動画作品の提供アーティストには使用料（出演・制作委託費）を支払い、活動支援の一助としました。



(YouTube のサムネイル)

□ アートキャラバンくまもと「ケンゲキオンラインスクール～音楽を聴こう知ろう～」

感染予防の観点から、多くの学校が音楽の授業で、歌うことや演奏することを自粛されています。県立劇場では熊本市教育委員会と熊本大学の協力のもと、ホールと教室をつなぐ特別な演奏会「ケンゲキオンラインスクール」を実施しました。コンサートホールと教室をオンラインで結び、プロの演奏家によるリアルタイムの演奏を届けるものです。「低学年」「中学年」「高学年」「日本音楽」の4つのプログラムを実施、合計302クラス、9,000人以上の児童が参加しました。



(学校での視聴の様子)



(コンサートホールから生配信した)

□ 清和文楽新作プロデュース事業

新型コロナウイルス感染症の拡大阻止のアイコンとして脚光を浴びる妖怪「アマビエ」をモチーフにした、清和文楽新作「肥後アマビエ戀歌異聞」をプロデュースし、3月20日に初演を果たしました。

熊本県重要無形文化財の清和文楽人形芝居の発信を目的としており、脚本は県在住の松本眞奈美（劇団市民舞台）、衣装デザインは熊本デザイン専門学校に委託するなど、県内の文化（人）材を活用した作品となりました。

本作品は、今後も清和文楽館等で定期的に上演される予定です。



（「肥後アマビエ戀歌異聞」初演の様）

③ 文化事業の入場者・参加者数

コロナ禍により当初計画していた事業の多くが中止・延期となり、入場者・参加者数は約7,000人に留まりました。

一方で、コロナ禍を受けた追加事業で新たにオンライン配信をスタート。実績としては、生配信でのリアルタイム視聴者が9,105人、公式YouTubeチャンネルの動画再生回数は60,095回（うち令和2年度事業の再生回数は41,608回）となりました。

	目標	実績	達成率
入場者・参加者数	41,250人	<u>6,941人</u>	16.8%

④ 多様な財源の確保

助成金について、文化庁（地域の中核劇場・音楽堂等強化推進事業/21,199千円）や（一財）地域創造（地域の文化・芸術活動助成事業/5,000千円）から採択されました。また、企業からの制作受託金で事業を展開予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で多くが中止となりました。

⑤ 公共団体や民間企業等との連携強化

連携先	公演名
熊本市教育委員会 熊本大学大学院教育学研究科	アートキャラバンくまもと 「ケンゲキオンラインスクール」
鶴屋百貨店	ベルリン・フィル八重奏団（公演中止）
熊本県立美術館	美術館コンサート（公演中止）
社会福祉法人ふれあい福祉協会	ハンセン病対策促進事業菊池恵楓園心の朗読会（公演中止）

⑥ 文化事業評価委員会

県内有識者からの意見を聴取し、自主文化事業を評価するために平成30年度から文化事業評価委員会を設置しています。当年度は2回の文化事業評価委員会を開催しました。

◇第1回文化事業評価委員会

開催日	9月24日(木)
出席委員	田中尚人(委員長)、米野真理子、瀧川淳、竹屋純子、葉山耕司、村上美香、湯貫登
内容	コロナ禍を受けて実施した追加事業について担当者から報告し、意見交換を実施。 また、今後の事業についても委員からさまざまな意見をいただいた。

〈追加事業について〉

- ・本当に素晴らしく、聞いていて元気がでるような事業ばかりであった。今の子どもたちはデジタルネイティブと呼ばれている。今後の受け取り方を決めるのは子どもたちであるため、新しいチャンネルとして教育やアートの発信の場ができたことは良かったと思う。
- ・震災の時も感じたが、アートキャラバンとして被災地を回ったように、今回も迅速に行動されているように感じ、すばらしいと思った。このような陰鬱な状況ですぐに行動されることは、郡部の会館にとってもお手本になっている。
- ・(ケンゲキオンラインスクールで)オンラインでの開催が妥協ではなく、臨場感ある新しい形となる可能性があるのではないかと、子どもたちの反応を見て感じた。今後継続していくことで、アートの発信の新しい形になるかもしれないし、それは子どもたちが一番敏感に感じていくことだと思う。
- ・街中の状況はやはり危機的なものがある。芸術の経験は最終的にはオーガニックでなければならぬと感じているが、今回の配信等はクオリティなどもしっかりしていたので良かったと思う。
- ・半年間ですばらしい進歩をしていて感動した。自分自身でも配信を始めたが、YouTubeとFacebookでは視聴者層に違いがあるため、広報の工夫は今後もっと必要だと感じた。
- ・どうしても家で過ごす時間が増えるため、障がいを持っている方たちもYouTubeなどの配信を見ていた。“withコロナ”の生活の中で、このようなことをされていることは本当に良いと思う。
- ・動画のクオリティも高く、長さなども工夫されていたためよかったが、あまり知られていないことがもったいない。誰でも投稿ができる時代だからこそ、クオリティの高い作品を、新聞やテレビ以外の方法で若い人に広めていく必要がある。これからオンラインが当たり前になっていく時代の中で、劇場に来る意味や価値を見出さなければならない。
また、熊本愛にあふれる人たちに注目してもらい取り組みや、外国の方に対し英語の字幕をつけるなど、配信と劇場のハイブリッド感があるようなことを考えていったらどうか。

〈今後の事業について〉

- ・県劇と街中のコラボが今後できるのではないかと。地震直後に共同で取り組んだこともあるので、フラッシュモブ等をしてみてはどうか。

- ・どうやって催し物を行えばよいか、また、楽しんでもらえるための感染対策を施した会場づくりの指針を郡部に示すことができるよう県劇が活動していく必要があると思う。
- ・ケンゲキオンラインスクールは熊本市内の小学校を対象としていたが、熊本市以外の子どもたちなどに、実際に見てみたいと思ってもらえるような発信の方法を考えていけばよいのではないかな。
- ・改修工事の話があったが、パリのオペラ座などのように県立劇場を見る価値のあるものとして、ツアーなどを組んでみてもよいのではないかな。また、シアターショップのように、関連する小物が買えるようにすると収益にもつながる。DVDやワイン、バッグなどを売り、それを使用してもらえれば広報にもつながるのでやってみてはどうか。カフェやショップ、自由に演奏できる場所などを考えると楽しい。
- ・ライブ録音ができる仕組みなどはないのかな。記録を取っていくことができるのであれば今後県劇であったものを記録し、ショップなどで「県劇レーベル」として販売するとういのではないかな。

◇第2回文化事業評価委員会

開催日	令和3年3月9日（火）
出席委員	田中尚人（委員長）、米野真理子、瀧川淳、竹屋純子、葉山耕司、村上美香、湯貫登
内容	令和2年度下期に実施した事業について担当者から報告し、委員から評価コメントをいただいた。令和3年度の事業計画について意見交換が行われ、とくに演奏家派遣アウトリーチ事業についてさまざまな意見が寄せられた。

〈事業評価：劇場って楽しい！！〉

・とても素晴らしい事業で、是非来年も続けてほしいと思っている。ただ、スタッフの皆さんの緊張を感じた。やる意義は十分にあるため、無理をしないで持続してできるような楽しめる省略化をしていけばよいのではないかな。

・スペシャルオリンピックスとオハイエクまもとにこのお話をいただいたが、障がいの特性について事前に色々アンケートを記入した。それを受けて色々ご配慮いただいたと思うが、終わった瞬間に参加者から多くのメールが届いた。演奏をしながら説明をされていて、分かりやすかったという話であった。写真も届いたがとても笑顔で、また行きたいとのことだった。本当に良いものであるため、今後自分で申し込めるようになればなおよいと思う。



（「劇場って楽しい！！」）

〈事業評価：アウトリーチ事業〉

- ・コロナ禍において学校でも、これまで築いてきた実績や信頼があれば安心してもらえ、実施ができると思う。次年度コマ数が増えるということであるが、それは県劇が勝ち取ってきたアウトリーチの絆であると思う。数が増えて大変で、止めたいとにならないよう楽しめる工夫が必要だと思う。
- ・学校側との打ち合わせでは、Zoom等を活用して、ほんの少しでもアーティストと学校とのつながりを作っておくと、実施の際の雰囲気等もまた変わってくるのではないかと。

〈事業評価：清和文楽新作プロデュース事業〉

- ・学生と一緒に取り組んでいるということも素晴らしい。県立美術館で衣装の展示や、通潤酒造さんとのコラボなど、清和への観光誘致としての広がりが容易に想像できるものである。
- ・高校生や専門学校生を受け入れる社会づくりが求められているので、この事業や関係は続けてほしい。

〈令和3年度文化事業について〉

- ・アウトリーチは学校の授業として以外に、プロを目指す人の集まりの中で行っていただくということはあるのか。熊本県では若い子を世界にということプロジェクトを進めているので、この事業でもできるのではないかとふと感じた。
- ・コロナといったイレギュラー等が今後もあるかと思うので、計画通りにいかなかったときにも学ぶことはあると思う。みんなでワクワクできるように考えていってほしい。県劇として積み重ねながら、新しいことにもチャレンジしているので、次年度事業はこれで大丈夫だと思う。

⑦ 個別事業の実施状況

※個別事業の詳細は資料8を参照。

(7) 県立劇場の施設等の維持および修繕に関する業務

① 大規模改修工事

約5ヵ月間にわたって行われた改修工事では、音響設備をはじめ舞台環境の機能向上はもとより、デジタルサイネージによる案内広報、楽屋・控室のトイレ衛生器具の更新増設など、来館者・利用者にとって、より「安全で心安らぐ劇場」として快適に施設が利用できるようになりました。

項目	内容
舞台機構設備等	
①舞台音響設備	両ホール舞台音響設備の全面デジタル化ほか
②舞台迫り機構設備	演劇ホールの迫り等昇降機構の更新と舞台床の研磨ほか
③舞台インターカム設備	メインステーション、リモートステーション、ヘッドセット等の更新
④直流電源装置	コンサートホール調光器盤・調光操作卓の電源装置更新

⑤ピアノオーバーホール	演劇ホール・大会議室ヤマハグランドピアノ (CF、C7) のオーバーホール
衛生設備	
⑥給排水衛生設備	演劇ホール楽屋シャワー室の改修 演劇ホール楽屋・大会議室・リハーサル練習室周りのトイレの改修 障がい者トイレを多目的トイレに改修（オストメイト設置）
セキュリティ設備等	
⑦防災設備	非常用放送設備、自動火災報知設備の更新ほか
⑧監視カメラ設備	カメラの増設（33台）、各部屋のモニターの更新・増設ほか
⑨デジタルサイネージ	催事表示用デジタルサイネージの新設
その他環境設備	
⑩外壁建具	建物外壁コンクリート打放し塗装・劣化補修ほか
⑪機械設備	換気設備、給排水設備の更新ほか

② 施設設備の維持管理

県立劇場は、不特定多数が利用する大規模施設であり、劇場という施設の性質上から、高い安全性と快適性を確保する必要があります。適切なメンテナンスおよび改修によりトラブルを未然に防止し、施設利用の継続性を確保しています。

令和2年度は、鉄柵や空調機設備の修繕補修、プロムナードベンチの塗装などの施設設備の修繕工事等（約4,100千円）を行いました。

また、県の熊本県立劇場保全計画について、県・営繕課をはじめ建築設計者等と密接な協議を重ねながら、実施にあたりました。

[修繕等実施状況]

区分	場所	内容
施設	演劇ホール	舞台上手壁面塗装工事
施設	演劇ホール	ホワイエ倉庫目隠し設置工事
施設	コンサートホール	3階女子トイレウォシュレット修繕工事
施設	コンサートホール	北側歩道鉄柵の修繕工事
施設	コンサートホール	西側遊歩道緑地帯一部芝生化工事
施設	コンサートホール	ホワイエ天井雨漏り防水工事
施設	大会議室	壁紙シワ伸ばし工事
施設	第2練習室	練習室前ガラス扉修繕工事
施設	事務所	事務所（1、2階）内線電話移設工事
施設	共用部	樹木ライトアップ投光器LED交換工事
施設	共用部	搬入口上の北側・南側鉄柵修繕工事
施設	共用部	正面ロータリーの交通標識修繕工事

施設	共用部	有料駐車場内の番号標識修繕工事
施設	共用部	樹木（高木:楠、メタセコイア等）剪定
施設	共用部	館内LED化修繕工事（1練、2練、3練、6控室前、中央階段等）
施設	共用部	屋外喫煙所扉、換気扇排煙口水切り取換工事
施設	共用部	屋外喫煙所シャッター修理工事
施設	共用部	塗装工事（プロムナードベンチ、1練、演リハ、守衛室、館長室、清掃員控室）
施設	共用部	駐車場内標識修繕工事
施設	共用部	正面ロータリーバス駐車場舗装修繕工事
施設	共用部	館内案内図貼り替え工事
施設	中央監視室	3階機械室雨水配管雨漏り修繕工事
施設	中央監視室	空調用コンプレッサ電磁弁設置工事
施設	中央監視室、機械室	空気源改修に伴う中央監視装置変更工事
施設	中央監視室	空調機 AC-5 温水 2 方弁交換工事
施設	中央監視室	冷温水発生器の給気ファンのファンケーシング交換工事
施設	中央監視室	冷温水器発生器バタフライ弁交換工事
施設	中央監視室	給湯ボイラー修理
舞台	演劇ホール	エレベーター監視盤通信用バッテリー交換
舞台	演劇ホール	演劇ホール用電動リフト UL-25 修繕工事

熊本県立劇場管理運営業務仕様書にある「県立劇場の施設および設備の維持および修繕に関する業務」の各項目を確実に実施していくことに努めています。保守点検や修繕工事は、施設利用日数への影響が最小となるよう効率的に行っており、保守点検等委託業務にあたっては財団職員が監督し、細心の注意を払いながら実施しました。

[施設維持管理業務]

項目	内容
施設管理	清掃業務、建築物環境衛生管理業務、警備業務、庭園管理業務、設備運転監視・施設設備定期点検業務
空調管理	中央監視装置および空調用自動制御機器保守点検業務、ボイラー排ガス測定業務、冷温水発生器保守点検業務、ヒートポンプチラー点検業務
設備管理	エレベーター保守点検業務、自動ドア装置保守点検業務、有料駐車場設備保守点検業務、自家発電設備保守点検業務、防災設備定期点検業務、防火設備定期点検業務、高圧電気設備定期点検業務、緊急ガス遮断設備等点検業務、給湯ボイラー点検業務、地下汚水ピット清掃業務、高架水槽清掃業務、飲料水水質検査業務、アスベスト濃度測定業務、建築物定期点検（3年ごと）、建築設備定期点検業務

設備管理 (舞台)	迫り装置等保守点検業務、照明設備保守点検業務、吊物装置等保守点検業務、音響設備保守点検業務、エレベーター装置等保守点検業務
ピアノ	ピアノ・チェンバロ保守点検業務

③ 危機管理の対応

災害発生時には多大な被害が発生することが予想されるため、日頃から劇場職員の危機管理に関する知識の習得と意識の向上をはじめ、以下を実践しています。

- 公演本番時に危機管理責任者および危機管理担当者の配置
- 緊急事態に備え、危機管理体制表に基づき主催者と連携し、来館者の安全を確保
- 消防訓練や避難訓練など、危機管理に関する訓練および研修の実施

[訓練実績]

実施日	項目	概要
6月5日(金)	地震訓練	発生時は現場判断を優先し、速やかなアナウンスによる初動対応と適切な避難誘導によりパニックを防ぎ、観客に安心感を与えることで被害を最小限に抑える訓練。
7月8日(水)	通報訓練 (火災発生時の初動対応)	火災発生時の様々なケースを想定しながら、消防隊が到着するまでの間の「消防署への的確な通報」、「初期消火活動」、「避難誘導」等の自衛消防活動についての訓練。
令和3年 3月12日(金)	消防訓練 (機器取扱、部分訓練)	新設された火災受信機と非常放送設備の操作手順について習ったあと、職員が2班に分かれ消防訓練を行った。



(更新された防災設備機器の取扱研修)



(消防訓練)

[台風 10 号に伴う広域避難者受け入れ状況報告]

令和 2 年 9 月に発生した台風 10 号の接近に伴い、気象庁が「特別警報級」に発達する可能性があるとの警戒を呼び掛けたため、県立劇場は県と協議の上 9 月 6 日から 2 日間「臨時休館」とし、これまでにない警戒体制を執りました。また、7 月の豪雨で甚大な被害を受けた人吉市の在宅避難者の広域避難先として県からの依頼を受け、県職員の指導のもと避難者 32 人を 9 月 6 日から 7 日まで受け入れました。



(避難者受付)



(避難所として使用した音楽リハーサル室)

◇第 29 回 BELCA 賞ロングライフ部門受賞

適切で優れた維持保全や改修が実施された建築物から選ばれる、第 29 回 BELCA 賞に県立劇場が選定され、令和 2 年 5 月 18 日の通常総会において表彰されました。

BELCA 賞は 1991 年に創設され、長期使用を考慮した設計のもとに建設されるとともに、長年にわたり適切に維持保全され、さらに今後相当期間にわたって維持保全が計画されている建築物を対象とする「ロングライフ部門」と「ベストリフォーム部門」の 2 部門で構成されています。

世界的な建築家で当劇場の設計者である前川國男氏の作品が長年存続されていることだけが受賞のポイントになったことだけでなく、日々の管理運営等において受賞建築物の中でも上位の受賞となりました。

(8) 県立劇場の広報に関する業務

「伝える」「繋ぐ」「支える」をキーワードに、文化事業やホール、リハーサル室等のハード面に限らず、劇場の魅力を広く発信。県立劇場への理解と協力を全県的に広げる活動を行いました。

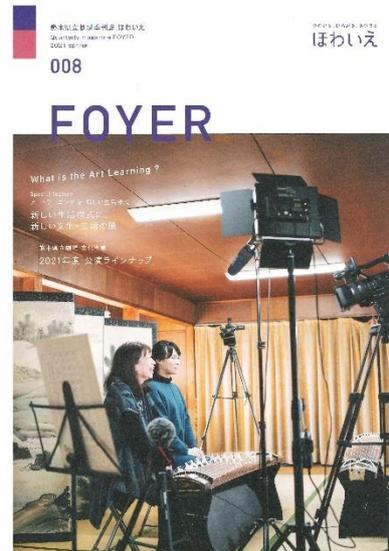
公式ホームページ、広報誌、ポスター・チラシなどの印刷物、SNS メディアなど多岐にわたる媒体を通じ、これまで以上に県民との双方向のコミュニケーションを深め、文化交流の場となる「共生の劇場」を目指し、県民に愛される劇場としての「ブランド確立」と「来館促進」を図ります。

① 広報誌

広報誌のコンセプトを「つながる、ひろがる、あつまる ほわいえ」とし、これまで文化事業に偏っていた広報内容から、県立劇場の活動全般の情報発信を強化し、県民の県立劇場への理解を深めるよう発行作業を行いました。

■熊本県立劇場マンスリーインフォメーション（毎月15日、毎5,000部発行）

発行日	内容
4月15日（水）	5月号
5月15日（金）	6月号
6月15日（月）	7月号
7月15日（水）	8月号
8月15日（土）	9月号
9月15日（火）	10月号



※改修工事による休館のため、11月号～3月号は休刊。

■熊本県立劇場季刊誌ほわいえ（年4回、毎5,000部発行）

発行日	内容
6月20日（土）	2020 夏号 (vol. 5) 特集：県劇アウトリーチ事業～劇場を飛び出して、文化芸術を届けよう ※新型コロナウイルス感染症について、館長コメント「芸術・文化の灯を絶やしてはならない」を掲載
9月20日（日）	2020 秋号 (vol. 6) 特集：熊本県立劇場 BELCA 賞受賞 事業：ケンゲキ オンラインスクール～音楽を聴こう知ろう～
12月20日（日）	2020 冬号 (vol. 7) 特集：劇場のお仕事～舞台技術
令和3年 3月20日（土）	2021 春号 (vol. 8) 特集：アートラーニング in 新しい生活様式 事業：2021 年度文化事業ラインナップ

② ホームページの内容変更について

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、ホームページの内容を一部変更しました。コロナ関連情報を最上部に置き、来館者、利用者、文化芸術関係者への関連情報をわかりやすく掲

載、日々変化する状況に対応しました。また、今回開設した「ケンゲキアートチャンネル」を中央部分に置きPRに努めました。

昨年度より、熊本県ウェブアクセシビリティ対応方針に準じて、ホームページの内容を更新する際は、誰もが利用しやすいホームページであることに十分配慮した情報提供に努めています。これまでホームページ内に掲載していた伝承芸能の動画は「ケンゲキアートチャンネル」に移動しました。



(ケンゲキアートチャンネルをジャンル分け)

③ チケット販売インターネットサービス

平成31年4月からインターネット上でチケットの購入ができるチケット販売システムを導入、開始しました。買い物カゴ機能による複数公演の同時購入や、コンビニでの発券、インターネット上でのクレジットカード決済など、鑑賞者の利便性の拡大を図っています。

令和2年度の利用状況は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの催事が中止又は延期を余儀なくされましたが、チケットの払い戻しには迅速に対応しました。

④ 先行予約会員制度

令和元年6月から先行予約会員向けに、主催事業のチケット先行予約販売を実施しています。先行予約会員には、令和3年3月末時点で2,992人が登録しています。

⑤ SNS登録会員数(3月31日現在)

媒体	導入時期	令和2年度	令和元年度
Facebook	H27.7 (2015年)	フォロワー1,547人 訪問者 95,453人	1,443人 —

Twitter		H24.9 (2012年)	フォロワー 691人	650人
YouTube	ケンゲキアート チャンネル	R2.7 (2020年)	チャンネル登録数 511 視聴回数 60,095回	—
	ケンゲキアート ラーニング	R2.12 (2020年)	チャンネル登録数 430 視聴回数 38,096回	—

(9) 県内公立文化施設および関係機関等との連携に関する業務

① 熊本県公立文化施設協議会

同協議会には現在 35 館が加盟（令和 3 年 3 月 31 日現在）していますが、県立劇場は会長館として県内全域の文化振興と舞台芸術のレベルアップを図るためさまざまな事業を行いました。

■熊本県公立文化施設協議会会則の改定

県内を 4 ブロックに分け、ブロックごとに取りまとめを行う理事館を設置し、加盟館同士の連携強化を図れるよう、会則の改定を行いました。

■ブロック別活動の実施

事業では、これまで年 2 回行っていた研修会（自主文化事業研修会と技術研修会）を充実させ、全 10 回の「劇場人育成プログラム」を実施（うち 2 回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）したほか、地域ごと、テーマごとに課題を議論し学ぶブロック研修を始めました。

例年行っている県立劇場での事業運営等の受入研修は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施できませんでしたが、全国公立文化施設協会の新型コロナ対策情報をいち早く配信したり、新型コロナウイルス対応に関するアンケートを加盟館対象に実施するなど、情報の提供や共有に努めました。

[ブロック別活動状況]

日程	地区	内容	会場	参加者
8月6日(木)	県北	会議	菊池市文化会館	8館10人
8月27日(木)	県央	会議	熊本県立劇場	10館12人
8月21日(金)	県南	会議	八代市鏡文化センター	6館9人
12月24日(木)	県北	研修会(自主文化事業に関する 情報交換)	菊池市文化会館	10館16人
12月9日(水)	県央	研修会(県央ブロックで取り上 げたい研修内容・講師)	熊本市民会館	5館9名
令和3年 1月28日(木)	県南	研修会(施設の改修・長寿命化)	宇土市民会館	【中止】
2月23日(火)	県央	研修会(映像・配信)	WEB配信	8館13名

[発熱者検知用サーモグラフィー貸し出し]

期間	貸し出し先
11月6日(金)～12月2日(水)	八代市厚生会館
11月6日(金)～11月9日(月)	熊本市男女共同参画センターはあもにい
令和3年1月8日(金)～1月12日(火)	嘉島町民会館
令和3年2月2日(火)～3月2日(火)	八代市厚生会館

② 地域連携

□ 大江・託麻原校区の町内会

例年大江校区町内会の集まりには毎月出席していましたが、コロナ禍による集會中止が続いたため、文化事業のチラシや広報誌ほわいへの送付に、活動が限定されました。

□ ゆめタウン大江（株式会社イズミ）

ゆめタウン大江とは、店内での文化事業のポスター掲示による広報協力のほか、交通渋滞の解消等においても連携を図りました。

□ 熊本都市バス株式会社

公共交通機関が少なくなる夜間公演の際は、県立劇場ロータリーから出発する臨時路線バスの手配を行い、利用者の利便性の向上を図っています。

今年度は2便、33人のお客様が利用しました。

③ インターンシップ等受入状況

インターンシップや職場体験を積極的に受け入れる「くまもとキャリア教育応援団（熊本市）」に登録しており、例年は熊本学園大学の長期（約3か月）をはじめとする各大学からのインターンシップや小学・中学・高校生の職場体験学習の受入れ、バックステージツアーによる施設見学等を積極的に行っていますが、今年度は新型コロナウイルスによる校外活動の自粛と劇場の改修工事により、2校の受け入れにとどまりました。

[インターンシップ等受入状況]

受入日	受入校
9月4日(金)～10日(木)	熊本県立大学文学部3年生／1名 (インターンシップ)
9月8日(火)	熊本市教育委員会(熊本市教育相談室)／13名 (熊本市内の不登校の中学生、保護者、熊本大学実習生対象) バックステージツアー

(10) その他、県立劇場の管理上必要と認める業務

① 便益施設の管理

来館者サービスの向上を図るため、適切な駐車場管理を行ったほか、館内に自動販売機（3台）、公衆電話（1台）、デジタルフルカラー複合機（1台）を設置し、利用者の利便性を確保しました。

② 経費負担の徴収

県立劇場内の行政財産の目的外使用許可施設（自動販売機、公衆電話）や保全計画による改修工事等に係る光熱水費については、翌月1日に使用料を計算し各業者に請求書を発行しました。各業者からは請求書に基づき、翌月末日までにその費用を徴収。遅滞なく電力会社等に支払いました。

③ 働きやすい職場づくり

■新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルスへの感染防止策として、在宅勤務等勤務体制を整備。職員の勤務体制について時差出勤、在宅勤務に関する要綱を制定し運用しました。

■職員の処遇改善

契約職員及び嘱託職員の期末手当支給、特別休暇の付与等非正規職員の処遇改善のための関係規程の改正を行いました。

■育児・介護休業制度の運用

令和2年5月、法令改正に依拠した育児・介護休業等に関する規程を改定。令和3年2月から対象職員1名が育児休業制度を利用しています。

3 新型コロナウイルス感染症対策に関する報告

県立劇場においては、国や県、全国公立文化施設協会のガイドラインをベースとし、全国の劇場の事例も参考にしながら新型コロナウイルス感染拡大予防対策を以下により講じてきました。

(1) 新型コロナウイルス感染症対策会議の実施

県立劇場では新型コロナウイルス対策として、対策会議を立ち上げ迅速に対応しました。会議は館長以下、危機管理担当職員で構成。会議の実施にあたっては、県対策本部からの情報共有と主管課との協力・連携をもとに随時協議を行いました。

(2) 来館者への対応

感染拡大期においては、来館者の安全と、感染拡大防止を最優先に考えて開催されるイベントについては原則延期または中止の対応を行いました。

9月以降は、感染対策と経済社会活動の両立のため、徹底した感染防止対策の下での安全なイベント開催については段階的緩和が行われることとなり、条件付きで収容率及び人数条件の緩和が図られることとなりました。

新型コロナウイルス感染症の影響による令和2年度の両ホールおよび大会議室の中止・延期状況は以下のとおりです。

予約件数	中止件数	延期件数
453	308	38

(3) 施設内での対応

管理棟事務所をはじめ館内各所に手指消毒液や飛沫感染防止シールド、クリアパネルの設置など通常の感染対策をはじめ、モールやトイレ等に足元サインを設置したほか、ロビー等ソファー使用時のソーシャルディスタンスの確保のための処置を講じました。

また、ホール利用後は清掃・消毒を徹底しました。

さらに、催事の入場時においては、発熱者検知専用サーモグラフィカメラ・非接触型体温計を設置したほか開演前アナウンスにて感染予防対策の呼びかけを行いました。



(ソファー使用時の注意喚起)



(モールの足元サイン「こちらでお待ちください」)

(4) 文化事業の対応

コロナ禍により、海外オーケストラの渡航禁止やイベントのツアーの中止、さらにホールの貸出停止を受け、令和2年度上期に実施予定だった殆どの大型文化事業について、中止を余儀なくされました。文化事業の中止・変更の決定にあたっては、県民への周知や販売済みチケットの払い戻し、関係各所との調整を行いました。

(5) 職員への対応

職員の感染拡大及び予防対策を徹底するよう周知するとともに、事務所内での感染リスクを軽減するため、時差出勤や在宅勤務、毎朝の発熱等健康チェックや県外移動の制限など職員向けの通知を発出しました。

さらに在宅勤務については、職員間の会議や外部との打ち合わせ、研修会の実施等にオンライン会議システム（ZOOM など）を導入しました。新型コロナウイルス対策として、引き続き活用していきます。

KUMAMOTO PREFECTURAL THEATER

熊本県立劇場からのお願い
新型コロナウイルス感染予防対策

おうちで
発熱や咳などの症状や、体調が優れない方は、来館をお控えください。

劇場で
劇場内では、マスクの着用をお願いします。そのほか感染予防のため様々な対策を行っていますのでご協力をお願いします。

館内の換気
15分に1回館内の空気が外気と入れ替わる空調システムを使用

手指消毒液の配置
入口に手指消毒液を設置しています

こまめな消毒作業
よく触れる場所の清掃・消毒を強化しています

入場時体温測定
37.5℃以上の発熱が確認された場合は入場できません

客席使用制限とソーシャルディスタンス
座席は前後左右1席ずつ空けてご利用いただけます
公演の前後もお客様同士の間隔を広くとってください

熊本県立劇場

KUMAMOTO PREFECTURAL THEATER

令和3年3月20日
リニューアルオープン

熊本県立劇場

(大規模改修工事で新設されたデジタルサイネージ)

■資料

□資料1 [利用者アンケート]

No.	日付/会場	公演名/主催者名	料金	手続	対応		舞台設備	次回利用	平均	その他
					フロア	ステージ				
1	令和2年8月8日(土) /コンサートホール	第64回 熊高音楽会 /熊本県立熊本高等学校	2	4	4	4	4	4	3.7	利用料金…安くしていただければ嬉しいです その他…このような状況の中、開催させていただきことに感謝しています。
2	令和2年8月14日(金) /演劇ホール	タカコハレエスタジオ・大津ハレエ教室合同発表会Recital 2020 /タカコハレエスタジオ	2	3	4	4	4	4	3.5	その他…楽屋のトイレを洋式にしていたいただけると助かります。楽屋廊下に衣替えを掛けるペーパーなどがあると嬉しい。演劇リハーサル室のリノリウムは素晴らしいです。ありがとうございます。
3	令和2年9月5日(土) /コンサートホール	第53回 熊日学生音楽コンクール 合唱本選 /熊本日日新聞社	2	4	4	4	4	4	3.7	その他…お世話になりました。
4	令和2年9月12日(土) /コンサートホール	熊本市立西原中学校吹奏楽部 第33回定期演奏会 /西原中学校吹奏楽部	2	4	4	4	4	4	3.7	その他…大変お世話になりました。ピアノ再生もスムーズに行われ安心しました。3月の東陵高校、西原中足演もお世話になります。
5	令和2年9月17日(木) /コンサートホール	令和2年度 熊本学園大学付属高校・中学校芸術鑑賞会 /熊本学園大学付属高校	1	4	4	4	4	4	3.5	その他…大変お世話になりました。職員の方々、スタッフの方々の対応は適切で誠実でありがたく感じました。2部公演に切り替わった時スムーズに対応していただき感謝します。それまでの学校行事がコロナ禍でほとんど中止になった中で、やっと学校全体でまとまりのある行事が完遂できたことにお礼を申し上げます。
6	令和2年9月20日(日) /演劇ホール	Rhythm market LIVE Vol. 26 /ダンススクール リズムマーケット	3	4	4	4	4	4	3.8	フロア職員…3月から長い期間にわたり、大変お世話になり感謝しています。最終丁寧に、こちらの意向を汲んでくださり動きやすかったです。 ステージ職員…照明が最高でした！短い時間で、できるだけ仕込みをしていただいてお客様からも満足してもらえました。プロの仕事をありがとうございます。 その他…コロナで通常ではない状況の中、いろいろ対応していただきありがとうございます。サポートというシステムは果敢とさんならではと思いますが、大変良い方法で安心感がありました。またよろしくお願ひします。
7	令和2年10月6日(月) /コンサートホール	第29回 帯中白亜祭 /熊本市立帯山中学校	2	3	3	3	3	4	3.0	その他…事前の打ち合わせから当日までとても丁寧に対応してくださり本当にありがとうございます。来年度もよろしくお願ひします。
8	令和2年10月5日(日) /コンサートホール	熊本県指定自動車教習所職員講習 /(一社)熊本県指定自動車教習所協会	3	4	4	4	4	4	3.8	その他…当方の準備不足を補っていただいた大変お世話になりました。
9	令和2年10月16日(金) /演劇ホール	誠徳幼児園 生活発表会 /誠徳幼児園	2	4	4	4	4	4	3.7	ステージ職員…毎回利用させていただいていますが、皆さんとても親切で様々な方法やアイデアをいただき、とても感謝しております。 舞台…子ども達の演技が引き立つように心配りがあり、とても有難いと思っております。 その他…利用する際から様々な心配りをしていただきありがとうございます。安心して生活発表会が開催できますので、来年もよろしくお願ひします。
10	令和2年10月24日(土) /演劇ホール	熊日ストリートダンスコンテスト2020 /熊本日日新聞社事務局	2	4	4	4	4	4	3.7	その他…コロナ対策として受付用のビニールパーテーション(アクリル製の仕切り)などを準備してほしい。短期使用の貸会場に主催者側で準備するにはコストがかかるため、会場で貸出しがあると助かります。
11	令和2年10月22日(木) /演劇ホール	熊本市立大江小学校 ハートフルコンサート /熊本市立大江小学校	-	4	4	4	4	4	4.0	その他…公演前からのいろいろと便宜を図っていただきありがとうございます。
計			2.10	3.82	3.91	3.91	3.91	4.00	3.61	※合計は4月からの平均値
満足度			52.5%	95.5%	97.7%	97.7%	97.7%	100.0%	90.2%	

□資料 2 [施設使用許可件数] (単位:件)

	令和 2 年度	令和元年度	差	(参考) 平成 27 年度
使用許可件数 (団体数)	557	857	▲ 300	1,072

□資料 3 [施設別利用状況 (ホール・大会議室)] (単位:日)

施設名	利用状況	令和 2 年度	令和元年度	差	(参考) 平成 27 年度同期
コンサート ホール	利用可能日数	145	290	▲ 145	296
	利用日数	41	186	▲ 145	217
	利用率 (%)	28.3	64.1	▲ 35.9	73.3
	入場者数 (人)	17,196	172,194	▲ 154,998	218,389
演劇ホール	利用可能日数	146	291	▲ 145	285
	利用日数	49	207	▲ 158	225
	利用率 (%)	33.6	71.1	▲ 37.6	78.9
	入場者数 (人)	10,610	122,887	▲ 112,277	144,600
大会議室	利用可能日数	176	318	▲ 142	312
	利用日数	38	205	▲ 167	226
	利用率 (%)	21.6	64.5	▲ 42.9	72.4
	入場者数 (人)	2,372	30,767	▲ 28,395	50,191
入場者数合計 (人)		30,178	325,848	▲ 295,670	413,180

※利用率は小数点以下 2 桁を四捨五入

□資料4 [施設別利用状況（その他施設）]（単位：日）

施設名	利用状況	令和2年度	令和元年度	差	(参考)平成27年度同期
和室	利用可能日数	184	326	▲ 142	334
	利用日数	25	91	▲ 66	125
	利用率(%)	13.6	27.9	▲ 14.3	37.4
	入場者数(人)	282	1,666	▲ 1,384	2,289
音楽リハーサル室	利用可能日数	166	323	▲ 157	332
	利用日数	55	221	▲ 166	242
	利用率(%)	33.1	68.4	▲ 35.3	72.9
	入場者数(人)	1,376	12,606	▲ 11,230	21,530
演劇リハーサル室	利用可能日数	170	323	▲ 153	332
	利用日数	55	179	▲ 124	184
	利用率(%)	32.4	55.4	▲ 23.1	55.4
	入場者数(人)	1,535	10,272	▲ 8,737	11,776
第1練習室	利用可能日数	182	325	▲ 143	336
	利用日数	86	161	▲ 75	179
	利用率(%)	47.3	49.5	▲ 2.3	53.3
	入場者数(人)	2,721	7,532	▲ 4,811	13,373
第2練習室	利用可能日数	184	327	▲ 143	334
	利用日数	116	225	▲ 109	245
	利用率(%)	63.0	68.8	▲ 5.8	73.4
	入場者数(人)	2,262	6,113	▲ 3,851	11,151
第3練習室	利用可能日数	188	325	▲ 137	339
	利用日数	159	259	▲ 100	283
	利用率(%)	84.6	79.7	▲ 4.9	83.5
	入場者数(人)	2,931	7,260	▲ 4,329	13,721
他の入場者数	入場者数(人)	29,479	130,097	▲ 100,618	3,605
入場者数合計(人)		40,586	175,546	▲ 134,960	77,445

※利用率は小数点以下2桁を四捨五入

□資料5 [区分帯別利用状況（ホール・大会議室）]（単位：回）

施設名	区分	令和2年度	令和元年度	差	(参考)平成27年度同期
コンサートホール	午前	33	159	▲ 126	185
	午後	35	158	▲ 123	191
	夜間	22	94	▲ 72	118
演劇ホール	午前	31	181	▲ 150	201
	午後	45	186	▲ 141	196
	夜間	23	125	▲ 102	130
大会議室	午前	28	114	▲ 86	111
	午後	32	183	▲ 151	200
	夜間	20	62	▲ 42	77

□資料6 [ホール別・形態別利用状況（ホール・大会議室）]（単位：日）

施設名	形態別	令和2年度	令和元年度	差	(参考)平成27年度同期
コンサートホール	利用可能日数	145	290	▲ 145	296
	音楽会	37	126	▲ 89	148
	歌謡ショー	0	0	0	0
	大会・集会・式典	0	11	▲ 11	14
	研修・講演・発表会	4	31	▲ 27	39
	その他	0	18	▲ 18	16
	利用日数計	41	186	▲ 145	217
	利用率(%)	28.3	64.1	▲ 35.9	73.3
演劇ホール	利用可能日数	146	291	▲ 145	285
	演劇	6	27	▲ 21	27
	邦舞・邦楽	0	4	▲ 4	5
	洋舞	10	34	▲ 24	32
	古典芸能等	3	20	▲ 17	11
	大会・集会・式典	1	10	▲ 9	15
	研修・講演・発表会	20	48	▲ 28	64
	歌謡・音楽会	7	43	▲ 36	59
	映写会	0	1	▲ 1	0
	その他	2	20	▲ 18	12
	利用日数計	49	207	▲ 158	225
	利用率(%)	33.6	71.1	▲ 37.6	78.9
大会議室	利用可能日数	176	318	▲ 142	312
	大会・集会・式典	0	9	▲ 9	8
	研修・講演・発表会	33	141	▲ 108	159
	映写会	0	0	0	0
	展示会	0	4	▲ 4	4
	歌謡・音楽会	4	48	▲ 44	40
	その他	1	3	▲ 2	15
	利用日数計	38	205	▲ 167	226
	利用率(%)	21.6	64.5	▲ 42.9	72.4

※利用率は小数点以下2桁を四捨五入

□資料7「ホール等の年度別月別利用状況表」

《コンサートホール・演劇ホール》

県立劇場ホール等の年度別月別利用状況表

施設名	年度	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計						
		利用可能日数	利用日数 (日)	利用率 (%)																												
コンサート ホール	令和2年度	4	0	0.0%	10	0	0.0%	25	7	28.0%	8	29.6%	13	54.2%	4	19.0%	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	12	9	75.0%	41	28.3%	
	利用可能日数	4	0	0.0%	10	0	0.0%	25	7	28.0%	8	29.6%	13	54.2%	4	19.0%	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	12	9	75.0%	41	28.3%	
	令和元年度	26	14	53.8%	22	15	68.2%	22	22	100.0%	21	95.5%	17	77.3%	23	104.5%	19	86.4%	17	77.3%	20	24	24	25	26	10	40.0%	1	8.3%	186	64.1%	
	利用可能日数	26	14	53.8%	22	15	68.2%	22	22	100.0%	21	95.5%	17	77.3%	23	104.5%	19	86.4%	17	77.3%	20	24	24	25	26	10	40.0%	1	8.3%	186	64.1%	
	平成30年度	26	19	73.1%	26	19	73.1%	29	23	79.3%	24	88.9%	17	68.0%	18	69.2%	22	81.5%	15	57.7%	21	18	18	2	66.7%	3	17	17	205	76.2%		
	利用可能日数	26	19	73.1%	26	19	73.1%	29	23	79.3%	24	88.9%	17	68.0%	18	69.2%	22	81.5%	15	57.7%	21	18	18	2	66.7%	3	17	17	205	76.2%		
	平成29年度	24	19	79.2%	24	15	62.5%	21	21	100.0%	19	79.2%	14	58.3%	19	79.2%	20	83.3%	15	62.5%	25	20	20	0	0.0%	0	12	12	100.0%	181	75.4%	
	利用可能日数	24	19	79.2%	24	15	62.5%	21	21	100.0%	19	79.2%	14	58.3%	19	79.2%	20	83.3%	15	62.5%	25	20	20	0	0.0%	0	12	12	100.0%	181	75.4%	
	平成28年度	12	6	50.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	4	33.3%	7	58.3%	26	216.7%	18	150.0%	23	191.7%	25	208.3%	14	116.7%	23	191.7%	16	133.3%	16	133.3%	184	153.3%
	利用可能日数	12	6	50.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	4	33.3%	7	58.3%	26	216.7%	18	150.0%	23	191.7%	25	208.3%	14	116.7%	23	191.7%	16	133.3%	16	133.3%	184	153.3%
	平成27年度	24	17	70.8%	24	19	79.2%	28	28	100.0%	27	112.5%	27	112.5%	23	95.8%	18	75.0%	22	91.7%	22	24	24	16	66.7%	24	24	100.0%	139	75.5%		
	利用可能日数	24	17	70.8%	24	19	79.2%	28	28	100.0%	27	112.5%	27	112.5%	23	95.8%	18	75.0%	22	91.7%	22	24	24	16	66.7%	24	24	100.0%	139	75.5%		
	平成26年度	26	16	61.5%	26	16	61.5%	27	20	74.1%	26	100.0%	18	69.2%	25	96.2%	15	57.7%	17	65.4%	22	18	18	0	0.0%	0	0	0	19	82.6%	165	76.7%
	利用可能日数	26	16	61.5%	26	16	61.5%	27	20	74.1%	26	100.0%	18	69.2%	25	96.2%	15	57.7%	17	65.4%	22	18	18	0	0.0%	0	0	0	19	82.6%	165	76.7%
平成25年度	30	13	43.3%	30	20	66.7%	27	26	86.7%	18	60.0%	17	56.7%	22	73.3%	16	53.3%	22	73.3%	24	18	60.0%	15	50.0%	24	24	80.0%	24	88.9%	223	73.8%	
利用可能日数	30	13	43.3%	30	20	66.7%	27	26	86.7%	18	60.0%	17	56.7%	22	73.3%	16	53.3%	22	73.3%	24	18	60.0%	15	50.0%	24	24	80.0%	24	88.9%	223	73.8%	
平成24年度	26	20	76.9%	26	16	61.5%	30	30	100.0%	25	83.3%	22	84.6%	24	92.3%	19	72.7%	24	92.3%	24	18	69.2%	15	57.7%	24	24	92.3%	14	51.9%	224	74.2%	
利用可能日数	26	20	76.9%	26	16	61.5%	30	30	100.0%	25	83.3%	22	84.6%	24	92.3%	19	72.7%	24	92.3%	24	18	69.2%	15	57.7%	24	24	92.3%	14	51.9%	224	74.2%	
平成23年度	25	18	72.0%	25	10	40.0%	26	25	96.2%	18	72.0%	20	80.0%	21	84.0%	21	84.0%	21	84.0%	25	21	84.0%	0	0.0%	0	0	0	7	28.0%	176	70.0%	
利用可能日数	25	18	72.0%	25	10	40.0%	26	25	96.2%	18	72.0%	20	80.0%	21	84.0%	21	84.0%	21	84.0%	25	21	84.0%	0	0.0%	0	0	0	7	28.0%	176	70.0%	
平成22年度	24	15	62.5%	23	15	62.5%	28	22	78.6%	6	25.0%	6	25.0%	16	66.7%	19	79.2%	20	83.3%	25	20	83.3%	14	58.3%	16	66.7%	25	25	100.0%	200	75.0%	
利用可能日数	24	15	62.5%	23	15	62.5%	28	22	78.6%	6	25.0%	6	25.0%	16	66.7%	19	79.2%	20	83.3%	25	20	83.3%	14	58.3%	16	66.7%	25	25	100.0%	200	75.0%	
令和2年度	4	0	0.0%	8	0	0.0%	23	8	34.8%	10	43.5%	11	45.5%	24	96.0%	13	52.0%	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	146	36.5%
利用可能日数	4	0	0.0%	8	0	0.0%	23	8	34.8%	10	43.5%	11	45.5%	24	96.0%	13	52.0%	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	146	36.5%
令和元年度	26	15	57.7%	20	10	50.0%	28	27	96.4%	22	84.6%	18	69.2%	22	84.6%	19	72.7%	22	84.6%	24	19	77.3%	13	50.0%	24	24	100.0%	0	0.0%	207	71.1%	
利用可能日数	26	15	57.7%	20	10	50.0%	28	27	96.4%	22	84.6%	18	69.2%	22	84.6%	19	72.7%	22	84.6%	24	19	77.3%	13	50.0%	24	24	100.0%	0	0.0%	207	71.1%	
平成30年度	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	147	36.8%
利用可能日数	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	147	36.8%	
平成29年度	26	17	65.4%	25	14	56.0%	25	24	96.0%	24	92.3%	21	80.8%	24	92.3%	15	57.7%	28	108.0%	25	16	61.5%	14	54.0%	24	24	100.0%	14	53.8%	242	60.0%	
利用可能日数	26	17	65.4%	25	14	56.0%	25	24	96.0%	24	92.3%	21	80.8%	24	92.3%	15	57.7%	28	108.0%	25	16	61.5%	14	54.0%	24	24	100.0%	14	53.8%	242	60.0%	
平成28年度	12	8	66.7%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	5	41.7%	7	58.3%	28	233.3%	24	200.0%	25	208.3%	24	18	75.0%	22	183.3%	24	24	100.0%	163	86.7%			
利用可能日数	12	8	66.7%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	5	41.7%	7	58.3%	28	233.3%	24	200.0%	25	208.3%	24	18	75.0%	22	183.3%	24	24	100.0%	163	86.7%			
平成27年度	21	15	71.4%	29	15	51.7%	23	23	100.0%	28	133.3%	23	109.1%	15	71.4%	24	114.3%	23	109.1%	24	14	66.7%	19	85.7%	25	25	100.0%	225	78.9%			
利用可能日数	21	15	71.4%	29	15	51.7%	23	23	100.0%	28	133.3%	23	109.1%	15	71.4%	24	114.3%	23	109.1%	24	14	66.7%	19	85.7%	25	25	100.0%	225	78.9%			
平成26年度	24	15	62.5%	24	16	66.7%	24	26	108.3%	26	108.3%	26	108.3%	25	104.2%	21	87.5%	21	87.5%	21	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	23	95.8%	218	91.3%	
利用可能日数	24	15	62.5%	24	16	66.7%	24	26	108.3%	26	108.3%	26	108.3%	25	104.2%	21	87.5%	21	87.5%	21	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	23	95.8%	218	91.3%	
平成25年度	26	16	61.5%	26	15	57.7%	21	21	100.0%	21	80.8%	21	80.8%	25	96.2%	14	53.8%	21	80.8%	21	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	20	77.0%	180	69.2%	
利用可能日数	26	16	61.5%	26	15	57.7%	21	21	100.0%	21	80.8%	21	80.8%	25	96.2%	14	53.8%	21	80.8%	21	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	20	77.0%	180	69.2%	
平成24年度	26	15	57.7%	26	16	61.5%	24	24	92.3%	24	92.3%	23	88.5%	23	88.5%	22	84.6%	22	84.6%	22	18	69.2%	19	72.7%	25	25	100.0%	221	85.0%			
利用可能日数	26	15	57.7%	26	16	61.5%	24	24	92.3%	24	92.3%	23	88.5%	23	88.5%	22	84.6%	22	84.6%	22	18	69.2%	19	72.7%	25	25	100.0%	221	85.0%			
平成23年度	25	14	56.0%	26	14	53.8%	26	22	84.6%	21	80.8%	21	80.8%	26	104.0%	14	56.0%	26	104.0%	26	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	9	36.0%	198	79.2%	
利用可能日数	25	14	56.0%	26	14	53.8%	26	22	84.6%	21	80.8%	21	80.8%	26	104.0%	14																

《大会議室》

県立劇場ホール等の年度別月別利用状況表

施設名	年度	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計							
		利用日数 (日)	利用率 (%)																														
大会議室	利用可能日数	13	0.0%	20	5.0%	24	20.8%	24	6.9%	29	28.8%	28	26.9%	26	41.7%	24	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	12	8.3%	176	21.6%		
	令和2年度	0	0.0%	1	5.0%	5	20.8%	2	6.9%	10	35.7%	10	34.6%	9	41.7%	10	34.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	38	21.6%		
	利用可能日数	26	61.5%	26	76.9%	28	64.3%	29	86.2%	29	75.9%	29	76.9%	29	70.4%	27	81.5%	27	66.7%	21	52.0%	25	59.3%	27	64.3%	27	0.0%	205	64.5%	318			
	令和元年度	16	61.5%	20	76.9%	18	64.3%	25	86.2%	29	75.9%	22	76.9%	20	70.4%	19	81.5%	22	66.7%	14	52.0%	13	59.3%	16	64.3%	0	0.0%	205	64.5%	318			
	利用可能日数	26	76.9%	27	83.0%	28	67.7%	21	72.4%	29	83.0%	19	65.5%	14	53.8%	19	73.1%	18	69.2%	15	68.2%	9	40.9%	19	86.4%	20	74.1%	208	67.1%	325			
	平成30年度	20	76.9%	17	63.0%	17	60.7%	21	72.4%	29	83.0%	11	37.9%	10	37.0%	7	25.9%	9	32.1%	3	13.0%	1	4.0%	1	3.8%	26	29.0%	90	27.7%	325			
	利用可能日数	26	76.9%	28	103.8%	32.1%	123.1%	14	48.3%	14	48.3%	7	25.9%	10	37.0%	7	25.9%	9	32.1%	3	13.0%	1	4.0%	1	3.8%	26	29.0%	90	27.7%	325			
	平成29年度	7	26.9%	4	14.3%	9	32.1%	14	48.3%	14	48.3%	11	37.9%	10	37.0%	7	25.9%	9	32.1%	3	13.0%	1	4.0%	1	3.8%	26	29.0%	90	27.7%	325			
	利用可能日数	12	58.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	17.1%	28	96.6%	19	76.0%	19	70.4%	16	66.7%	9	34.6%	19	70.4%	6	85.7%	128	69.6%	184			
	平成28年度	7	58.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	17.1%	28	96.6%	19	76.0%	19	70.4%	16	66.7%	9	34.6%	19	70.4%	6	85.7%	128	69.6%	184			
	利用可能日数	26	76.9%	22	84.6%	18	72.0%	20	69.0%	29	89.0%	22	75.9%	23	79.3%	21	77.8%	17	68.0%	13	52.0%	16	69.6%	17	65.4%	22	77.3%	226	72.4%	338			
	平成27年度	20	76.9%	22	84.6%	18	72.0%	20	69.0%	29	89.0%	22	75.9%	23	79.3%	21	77.8%	17	68.0%	13	52.0%	16	69.6%	17	65.4%	22	77.3%	226	72.4%	338			
	利用可能日数	28	107.7%	28	100.0%	28	100.0%	27	96.4%	27	96.4%	19	67.9%	22	78.6%	14	50.0%	10	35.7%	3	10.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	16	57.1%	163	48.5%	325	
	平成26年度	19	67.9%	22	78.6%	18	66.7%	20	74.1%	30	111.5%	19	70.4%	22	78.6%	14	50.0%	10	35.7%	3	10.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	16	57.1%	163	48.5%	325	
	利用可能日数	26	69.2%	17	60.7%	21	72.4%	24	80.0%	24	80.0%	20	69.0%	21	77.8%	23	76.7%	20	80.0%	16	72.7%	12	50.0%	21	77.8%	18	64.3%	231	71.1%	319			
	平成25年度	18	69.2%	17	60.7%	21	72.4%	24	80.0%	24	80.0%	20	69.0%	21	77.8%	23	76.7%	20	80.0%	16	72.7%	12	50.0%	21	77.8%	18	64.3%	231	71.1%	319			
	利用可能日数	26	73.1%	19	70.4%	22	75.9%	24	82.8%	29	111.5%	23	79.3%	24	85.7%	19	70.4%	13	52.0%	16	66.7%	15	71.4%	17	65.4%	18	64.3%	229	71.8%	319			
	平成24年度	19	73.1%	19	70.4%	22	75.9%	24	82.8%	29	111.5%	23	79.3%	24	85.7%	19	70.4%	13	52.0%	16	66.7%	15	71.4%	17	65.4%	18	64.3%	229	71.8%	319			
	利用可能日数	26	69.2%	20	71.4%	17	58.6%	24	82.8%	29	111.5%	18	62.1%	19	67.9%	21	77.8%	19	73.1%	19	82.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	177	71.7%	247	
	平成23年度	18	69.2%	20	71.4%	17	58.6%	24	82.8%	29	111.5%	18	62.1%	19	67.9%	21	77.8%	19	73.1%	19	82.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	177	71.7%	247	
利用可能日数	26	73.1%	21	77.8%	19	65.5%	23	85.2%	23	85.2%	4	66.7%	20	71.4%	23	82.1%	22	84.6%	15	60.0%	16	64.0%	22	84.6%	24	85.7%	228	75.7%	301				
平成22年度	19	73.1%	21	77.8%	19	65.5%	23	85.2%	23	85.2%	4	66.7%	20	71.4%	23	82.1%	22	84.6%	15	60.0%	16	64.0%	22	84.6%	24	85.7%	228	75.7%	301				